

ひら森のがっこう 鵜川の自然をみらいにつなぐ みんなの小さな森プロジェクト

ひら森のがっこうのある鵜川の棚田。子どもたちは一年中、山・川・琵琶湖・田畑を駆け回り、自然の恵みをいただいたり、暮らしや遊びに夢中になっています。近年、山では斜面崩落があちこちに（砂防ダムや林道の影響が大きいと思われる）、豊富だった木の実や、魚が減るなど自然が荒れ出す兆候がそこかしこに。

状況を改善するために何ができるのか、まず現状をしっかりと把握し、できることからスタートしていこう、申請時点（2024年末）ではそんな現状でした。

2025年3月 （助成予算外）



生態系、生物多様性の専門家、坂田昌子さんと現地の状況を観察、改善点を探りました。

2025年8月～



資材（石、落ち葉など）集め。道工具の準備。告知準備。石積みの練習など。

2025年8月 別事業の活動



小さな川の環境改善。川底に詰まった石を取り除き、擁壁の際に石積みをしていく活動。



棚田の石積み。崩れていないところでも、隙間から土が流出している。山全体も保水力を失い乾燥気味。景観としても、石積みが復活することで注目してもらいやすくなるため、一歩目の活動に。



↑ 11月に棚田の石積みを修復するワークショップを実施します。

聞いてみたいこと

学べば学ぶほど、「温暖化」や「環境問題」は、遠い国や大きな企業だけの問題ではなく、目の前の「この土、この草、この水」との関わりから始まるのだと実感しています。

みなさんは「環境問題」と、目の前の草木のつながりを感じることはありますか？普段どう自然と関わっていますか？何を気を付けたり、問題だと感じてますか？普及啓発の冊子の参考にしたいです。どんなことでも、個別でも、一言いただけたら助かります。